学校番号	４０５

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	アクリル絵具セット						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、映像やメディアの特性を踏まえた発想や構想から考える「映像メディア表現」と美術作品・芸術文化の関する「鑑賞」の分野について学習する。

表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていき、違った見方を「鑑賞」で共有し深めていく。

２　学習の到達目標

・　知識及び技能：
　画法や制作技法、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具・画材の特性を生かして表現する力を養う。

・　思考力、判断力、表現力など：
　美術の創造活動を通して美的感覚を洗練し、表現と鑑賞の能力を高める。

・　学びに向かう力、人間性など：
　固定観念にとらわれず他者の作品や未知のものを理解しようとする柔軟な感性を育てる。
　美術についての理解を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の美術の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	題材の評価基準（一部）	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
1学期	手のスケッチ	【絵画･彫刻】 ・基本的なデッサンの描画法を身につける。 ・着色について基礎知識を身につける。	a:表現したいことを伝える ための素描の知識･技能を身に付けている。(知識･技術) b:対象や自己の内面を見つめ、デッサンの特性を生かし、形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。(表現や構想) c:モデルに対して素直に接し、表現の工夫をしようとする 意欲がある。(取り組む態度)	･作品点 (技術的観点) ･ワークシート	･作品点 (創造的観点) ･ワークシート	･学習活動の様子 ･制作の様子 ･ワークシート
	色彩構成	【デザイン】 色についての基本的要素を学び（三原色の知識など）、自分が感じる「熱い・冷たい」色グループに分け着色する。	a:混色方法、美しいアクリル絵の具の彩色方法を表現しているか。(知識･技術) b:自分の感じる色の特性を生かし、自己表現としての色彩の関わりを知る。(表現や構想) b:合評。他者の作品から色の理解について学んでいる。(鑑賞) c:色についての知識を知り、自己の生活に関わる色から、色彩の特性を理解し興味を持つ。(取り組む態度)	･作品点 (技術的観点) ･ワークシート	･作品点 (創造的観点) ･ワークシート	･学習活動の様子 ･制作の様子 ･ワークシート
2学期	展覧会鑑賞	【鑑賞】 ･高校展鑑賞 鑑賞レポート提出	b: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす。(鑑賞) c:高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。(取り組む態度)		鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート

	シルクスクリーン	【絵画・彫刻】【デザイン】 エコバックにオリジナルマーク・キャラクターを印刷する。自己のデザイン力を引き出し、ワンポイントとして魅力ある作品づくりを目指す。	a:的確なカッターワーク、丁寧な版画工程がこなせる。(知識・技術) b:自己表現としてのキャラクターやマークの制作で個性を表現する。(表現や構想) b: 合評。自己のデザインの意図について発表し他者のデザインから学んでいる。(鑑賞) c:布に版画するということで、日常的に使用できる作品に取り組むことに興味関心を持ち、意欲的に制作できている。 (取り組む態度)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
	立方体レタリング・イラスト&デッサン	【絵画・彫刻】【デザイン】 ・基本的なレタリング方法を身につける。 ・立体になることを見越したイラストでデザインする。 ・立方体に展開図を描き立体にする方法を学ぶ。 ・レタリングされた立方体を見て、デッサンする。(デッサンの応用編)	a:レタリングを美しく丁寧に描けているか。 立方体の面に沿ってレイアウトされたレタリングを正しくデッサンできている。(知識・技術) b:立方体になる想定で、イラスト・デザインを発展的に構成できている。(表現や構想) b:合評。他者の作品を鑑賞し、アイデアや技術を学ぶ。また、言葉として意見・表現ができている。(鑑賞) c:立方体の各面にレタリング、イラストをデザインし、立方体に組み立て、その立方体をデッサンするという３要素を含む作品に意欲的に取り組めている。(取り組む態度)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

3学期	展覧会鑑賞	【鑑賞】 ・アートスタジアム鑑賞 鑑賞レポート提出	b: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かしている。(鑑賞) c:自校の生徒作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。(取り組む態度)		鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート
	木製時計の彫刻	【絵画・彫刻】 シナ材の板を使って木彫に取り組み、クォーツを取り付け時計として完成させる。工具の扱い方、彫刻の技法を取得する。	a:彫刻の技術を駆使し、着色の美しさ、綺麗な仕上げができている。(知識・技術) b:時計の機能を考え個性的なデザイン・造形を表現ができている。(表現や構想) c:彫刻の表現を知り、意欲的に作業を行う工程を学び、意欲的に制作している。 (取り組む態度)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

※表中の観点について、a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度